

No. 148
2012. 1


ねば
広報

私たちの村

人口と世帯 23年12月31日現在

総人口	1,110人
男	559人
女	551人
世帯数	435世帯

村の木 す ぎ

村の花 岩つつじ

発行 根羽村役場
〒395-0701 長野県下伊那郡根羽村1762
TEL 0265-49-2111 FAX 0265-49-2277

ホームページアドレス <http://www.nebamura.jp>
メールアドレス info@nebamura.jp
印刷 龍共印刷株式会社



**小学生がまゆ玉づくりを体験
しました。**



1月号の主な内容

年頭村長ごあいさつ	2 ページ
年頭議長ごあいさつ他	3 ページ
議会だより	4 ページ
申告相談のご案内他	5 ページ
お知らせ	6 ページ
アイシングループとの交流会他	7 ページ
フォトコンテスト・戸籍だより	8 ページ

年頭ごあいさつ



根羽村長

大久保 憲一

新年明けましておめでとう
ございます。

平成二十四年の新春を迎え、
村民の皆様のご健勝を心から
お慶び申し上げますとともに、
日頃から村政に對しまして、
ご理解とご支援を頂いており
ますことに、深く感謝申し上
げます。

さて、昨年の統一地方選挙
におきましては、村民の皆様
の温かい励ましと、ご推挙に
よりまして、新たに村政を担
わさせて頂くこととなりました。
本年も村民の皆様が、安
心して、安全に暮らせる地域
づくりのため、皆様と一緒に
なって、元気で明るい村づく
りを進めてまいりる所存であり
ますのでよろしくお願いを申
し上げます。

昨年を振り返って見ますと、
EUヨーロッパ圏を中心とし
た世界経済の減退や、タイの
洪水被害による経済活動への
打撃、急激な円高の進行など、

依然として厳しい経済状況が
続いています。一方国内では、

「三・一一東日本大震災」、栄
村を中心とした「長野県北部
地震」や、「福島原子力発電
所事故に伴う放射能問題」、
異常な雨量を伴った台風の相
次ぐ襲来など、自然災害が多
発し、多くの尊い生命が奪わ
れるなど、かつて経験したこ
とのない想像を絶する大災害
が全国で多発した年でありま
した。幸いにも当村では大き
な災害等もなく、比較的平穩
な年でありましたが、全国で
の痛ましい災害を目の当たり
にして、改めて日頃の防災対
策の充実と、防災意識の高揚
が必要であるのか、再認識し
た年でもありました。こうし
た中で、村では改めて危険個
所の把握と、地域毎の安全な
避難経路の把握をするため、
新たな防災マップの整備を進
めております。これらを早期
に完成させ、災害に関する情

報の共有を図り、より一層安
全な地域づくり対策を図って
まいりたいと思います。

さて、当村の平成二十三年
を振り返って見ますと、統一
地方選挙の実施や、併せて議
会議員の定数が十名から八名
に減員になったことなど、大
きな変化があった年でありま
した。また、テレビの地上デ
ジタル放送開始に併せて、村
内の高速インターネット環境
整備が完了したこと、子育て
に関する様々な応援をするた
めの「子育て支援センター」
の開所、信州大学農学部との
産業振興や人材育成を目的と
した「事業連携協定」の締結、
森林整備の促進と林業関係施
設の整備充実、矢作川を通じ
た様々な交流事業の展開など、
多様な取り組みが行われた一
年でありました。これからも
多くの皆さんの協力を頂きな
がら、元氣な村づくりを進め
てまいりたいと思います。

また、二〇二七年の開通を
目指すりニア中央新幹線につ
いてであります。昨年の五月
に国土交通大臣からJR東
海に對して建設指示が出され
ました。これを受けて事業が
大きく動き出したところであ
ります。当村においても、リ
ニア中央新幹線の開通や、三

遠南信自動車道の整備など、
これからの新しい交通時代の
到来をしっかりと見据えた村
づくりを進めて行く必要があ
ります。こうした点を踏まえ、
平成二十四年において、「村民
の皆さんと一緒に考えて考え
運営する村づくり」、「地域資
源の利活用による産業の創出
と、雇用のある村づくり」、
「村民の皆さんの健康増進や福
祉対策、そして生きがいのある
村づくり」、「教育、文化、
子育て支援の充実した村づく
り」、「生活環境施設整備と地
域防災対策の充実した村づく
り」の五つについて具体的な
方策を講じてまいりたいと考
えております。特に、昨年保
育所内に開所しました「子育
て支援センター」の充実や、
村民の皆さんの健康や福祉対
策事業のさらなる充実、林道
開設事業等の基盤整備事業の
充実、様々な交流事業の充実
に加え、大杉周辺整備事業に
も着手し、地域資源の活用による
交流人口の確保などにも
積極的に取り組んでまいりた
いと思います。また、「高齢者
福祉施設の整備計画」、「山村
留学制度導入」については、
今後どのような施設整備を考
え、どのような形で進めて行
くべきなのか、あらゆる可能

性を模索しながら、根羽村に
とって最良の方策を見出して
まいりたいと考えております。
また、「山村留学制度導入」に
関しても、どういった視点で
この事業を捉え、その効果と
実現性を見出して行くべきな
のか、皆さんの意見をしっか
りとお聞きしながら、じつく
りと研究し進めてまいりたい
と考えています。

本年も、今まで以上に村民
の皆様が「根羽村に住んで良
かった。そして、これからも
住み続けたいと思える村」と
なるよう、誠心誠意村づくり
に取り組んでまいりる覚悟であ
りますので、引き続き皆様
のご理解とご支援をお願い申し
上げます。平成二十四年が根
羽村と村民の皆様にとりまし
て、幸多き年となることを心
からお祈り申し上げ、新年の
ご挨拶とさせて頂きます。
本年もよろしくお願い致し
ます。





根羽村議会議長

坂 巻 博 文

平成二十四年の新春を迎えるに当たり皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

昨年は東日本大震災が発生し三陸沖を震源としたマグニチュード九・〇という国内観測史上最大の巨大地震、太平洋沖の天津波により二万人近い尊い命がうばわれ多くの人達が被害を受けました。また、長野県栄村におきましても震度六強の地震が発生し避難生活を送られている方々に根羽村でも炊き出しの支援に行っていました。被害者の皆様には本当につらく悲しい一年であったことと思います。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

世界経済はヨーロッパに端を発し、金融不安と超円高は産業界に大きな影響を与え、依然として先行き不透明であります。現在国におきましても景気回復のための諸施策が講じられているところですが、私達の村も長引く景気の低迷や少子高齢化社会の到来などさまざまな課題に直面し、村

づくりそのものが変化してきていると思います。特に根羽村の高齢化は大きな問題であり、六十五歳以上が四十三%を超えています。昨年の根羽村高齢者福祉サービス充実に

ついてのアンケート調査の結果、当村における高齢者入所施設の建設が必要と思う方が七割あり、六十・七十歳以上では七十五%を超えております。また、独り暮らしの方は介護を受けられる入所施設ができた場合、七割以上の方が利用したいとの結果が出ています。こうした結果を踏まえ高齢者福祉施設検討委員会を設立し、施設ができることから村にとってどのような施設が良いのか各方面への視察などを行い検討をしている所です。村民の皆様のご理解をいただき、なるべく早い時期に結果を出していく必要があるのではないかと思います。また、福祉の充実により雇用の場として根羽村の担い手として若い多くの人達がU・イターンし、若者促進施

策につながる事が一番の望みであります。

議会におきましては、議員定数削減について村民の皆様のご意見をお聞きし、去年の統一地方選挙において定数十名から八名となりました。これからの根羽村で安心安全に暮らせる村づくりに必要なことは何か優先順位を決めて村民の皆様と一緒に考え協議をし、できるところから進めてまいりたいと思います。これ以上のご支援と、ご協力をいただきま

すようお願い申し上げます。皆様にとって輝かしい一年でありますよう心よりご祈念申し上げ、年頭のあいさついたします。

平成二十三年
電源立地地域対策交付金
事業の実施について

村では、少子化対策及び住民の子育て負担軽減策の一環として、保育所での通常保育に加え午後四時から午後六時までの延長保育、未満児保育、休日保育を実施しています。保育所に勤務する保育士の人件費の一部について「福祉サービス提供事業」として、地域活性化事業の実施に対して交付される「電源立地地域対策交付金」を充当して事業を実施しています。

平成23年 根羽村十(重)大ニュース

- 1 テレビのデジタル化対応と高速インターネット環境整備が完了**
【コメント】 ケーブルテレビ施設のデジタル化対応工事が完了し、今までもどおり長野県・愛知県の民放局の視聴が可能となりました。併せて村内全域で高速インターネットが利用できる環境も整えました。
- 2 子育て支援センター開所並びに人形劇鑑賞を行う**
【コメント】 10月19日に子育て支援センターを保育所に開設し、高森町子育て支援センター宮島美代子さんをお迎えし記念講演を行いました。また、開所に先立ち子育て支援の一環として人形劇鑑賞をしゃくなげで開催し好評をえました。
- 3 統一地方選挙が執行され、大久保新村長が就任**
【コメント】 5期務められた小木曽村長が勇退され、大久保村長が就任。また、今回から議員定数も減員され、8名の議員が当選されました。
- 4 信州大学農学部と産業振興や人材育成などで連携協定締結**
【コメント】 信州大学農学部と森林や里山資源を活用して、産業振興や人材育成などで連携する協定を結ばれ、原種ソバの生産試験や山菜をはじめ他の森林資源を活用した新たな収入源の確保などについて研究が始められました。
- 5 3月発生の地震災害被災者を支援**
【コメント】 3.11東日本大震災で避難を余儀なくされた福島県の皆さんを1月18日まで村内に受入れました。また3月12日の長野県北部地震で被災された栄村の皆さんに、3月15日、うどん・ソバ3,000食の炊き出し支援を行いました。
- 6 矢作川を通じた様々な上下流連携事業が実施される**
【コメント】 植樹祭をはじめ、森林体験活動や観光会社との連携によるバスツアー等で多くの皆さんが来村して頂きました。
- 7 小児用肺炎球菌・ヒブワクチンを初めて接種する**
【コメント】 生後2ヶ月から4歳までの乳幼児21人を対象として、要望のあった幼児に全額公費負担で接種をしました。
- 8 飛騨荘川桜、飛騨臥龍桜、根尾淡墨桜を植樹**
【コメント】 愛知慈恵会並びに桜守の方々のご厚意により、ネバーランドに17本、村民グラウンドに5本の植樹を行いました。
- 9 第3回全国作業道研修会が根羽村で開催**
【コメント】 全国源流の郷協会の主催による「第3回全国森林作業道研究会」が開催され、全国より50人の方々が参加して、簡易で耐久性のある作業路網の整備方法や、根羽村での森林・林業の取り組みについて紹介が行われました。
- 10 根羽中学校がアンサンブルコンテストで金賞受賞**
【コメント】 根羽中学校が飯田市で開催された地区大会で金賞を受賞し、南信大会出場を果たしました。

議会だより

十二月定例会

一般会計補正予算等 八議案について審議

十二月十五日から十二月二十日までの六日間、十二月定例会が開催されました。内容については次のとおりです。

一般質問

◆原 光史議員

質問 外国資本による水資源の確保を目的とした水源林の買収等が報道されているなか、民有林を含めた森林売買等に関しての規制を強化すべきだと思いますが、村長の考えは。

回答 現在の法律等では、表流水には制限があるものの、地下水等には制限がなく、また森林取得に対しても同様に制限はありません。

平成十六年に制定された村の自然環境保全条例や、平成十七年に県より森林整備保全重点地域に指定を受け、一定規模の開発行為に指導ができますが、現在の法令等では限界があると考えております。

国レベルでの法令改正を訴えると同時に、村の条例への反映を検討したいと思います。

同時に、林業は村の基幹産業でありますので、村民の皆様が森林への意識が高まるよう、意識改革に取り組みたいと思います。

条例

◆根羽村暴力団排除条例の制定
暴力団の排除を目的とする条例が制定されました。

◆根羽村営住宅使用料条例の一部を改正する条例
現在、建設中の上町定住促進住宅の家賃が定められました。

◆消防団員等公務災害補償条例

例の一部を改正する条例
障害者自立支援法の改正に伴い、条項の改正がされました。

予算

◆平成二十三年根羽村一般会計補正予算（第五号）
子ども手当制度改正に伴う、電算システム改修経費等により、二千九百九十九万九千円を追加し、総額十四億七千七百八十九万九千九百九十九円となりました。

◆平成二十三年根羽村国民健康保険特別会計補正予算（第二号）
後期高齢者支援金等の増加により、五百九十四万五千円を追加し、総額一億八十三万六千円余となりました。

◆平成二十三年根羽村簡易水道特別会計補正予算（第二号）
濾過砂の更新費用の増加により、四十三万七千円を追加し、総額四千三百二十万九千九百九十九円余となりました。

◆平成二十三年根羽村介護保険特別会計補正予算（第一号）
施設介護給付費負担金の増

等により、六百六十五万九千九百九十九円を追加し、総額一億四千七百九十二万九千九百九十九円余となりました。

請願・陳情

◆介護職員処遇改善交付金の継続を求める陳情書
採 択

◆長野県独自の三十人規模学級の中学校全学年への早期拡大と複式学級の解消、県独自
採 択

に教職員配置増を求める意見書提出に関する請願書
採 択

◆「義務教育国庫負担制度の堅持」を求める請願書
採 択

◆少人数学級の早期実現や複式学級の編成基準の改善、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願書
採 択

消防団 出初式

平成二十四年一月五日、根羽村消防団出初式が厳粛に挙行されました。今年は万場瀬根羽給油所の（有）根羽給油所前からしゃくなげまで市中パレードを行いました。

引き続き式典がしゃくなげで行われ、久保田下伊那地方事務所長様、清水飯伊消防協



▲万場瀬からしゃくなげまでのパレードの様子



▲火の用心三唱

会長様をはじめ多くの来賓の皆様にご臨席を賜り、盛大に開催できました。表彰では根羽村消防団、一分団が長野県消防協会の無火災表彰を二分団は飯伊消防協会無火災章をそれぞれ受章されました。

最後には「火の用心三唱」を参加者全員で行い、今年一年の無火災の祈念とお互いの防火意識の高揚を図りました。

平成23年分の確定申告について 公的年金等を受給されている方へ ～平成23年度税制改正のお知らせ～

公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下(※1)で、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額(※2)が20万円以下である場合には、所得税の確定申告をする必要がなくなりました。

■この場合であっても、所得税の還付を受けるための確定申告書を提出することができます。

■公的年金等に係る雑所得以外の所得があり、その所得金額が20万円以下で所得税の確定申告が必要ない場合であっても、住民税の申告が必要です。

○住民税に関して詳しいことはお住まいの市区町村におたずねください。

※1 複数から受給されている場合は、その合計額です。

※2 「公的年金等に係る雑所得以外の所得」の主なものとして、給与や賞与などの「給与所得」、個人年金や原稿料などの「雑所得」、株式や出資の配当などの「配当所得」、生命保険の満期返戻金などの「一時所得」があります。

税に関する情報は国税庁ホームページ
www.nta.go.jp へ

申告相談のご案内

今年も2月16日(木)から3月15日(木)まで(土・日曜日は休みです)申告相談を行います。各地区の相談日は別表のとおりです。

下表の日程で都合のつかない方は随時受付をいたしますので、お早めに申告をお願いします。

平成24年度分村民税申告書には、住所(根羽村からで結構です)、氏名、生年月日、配偶者、扶養者の氏名、続柄、生年月日、障害者の氏名を必ず記入してください。(表の下段に氏名が記入してあります)

給与所得者のみで年末調整済みの方、所得が全く無く村内にお住まいの方の扶養等になっている方の申告は不要です。

※個人で営業、請負事業等をしている方は必ず申告をしてください。

その他ご不明な点がありましたら、役場総務課までお問い合わせください。

申告(納税)相談日程

期 日	時 間	適 用
2月20日(月)	午前9時から 午後5時	医療費控除、住宅控除、 農業等収支計算のある方
2月21日(火)	〃	〃
2月22日(水)	〃	〃
2月23日(木)	〃	〃
	〃	南 洞 地 区
2月24日(金)	〃	北 洞 地 区
2月27日(月)	〃	東 洞 地 区
2月28日(火)	〃	中 央 地 区
2月29日(水)	〃	西 洞 地 区
3月1日～2日	〃	該当日に申告出来ない方
3月5日～8日	〃	〃

防犯診断結果

昨年12月16日から25日までの間、村内全域において住宅の戸締まり、車輛の施錠状況等の防犯診断を防犯指導員が実施しました。結果を見てみますと前回に比べ住宅、車輛とも施錠無し件数は減少していますが、ゼロではありません。根羽村でも空き巣や盗難、車上荒らしの被害も発生しています。犯罪は他人事ではありません。日頃から防犯意識を高め、犯罪に巻き込まれないようにしましょう。

防 犯 診 断 結 果 表

診断日：平成23年12月17日から25日

地区名	住宅診断			車 両 診 断					
	診断総数	施錠済み	未施錠等	診断総数	施錠済み	ドアに施錠なし(A)	(A)のうちキー付	(A)のうち貴重品あり	施錠済みだが貴重品有
北洞計	45	45	0	45	45	0	0	0	0
中央計	62	62	0	62	59	3	0	0	0
東洞計	37	31	6	29	28	1	0	0	0
南洞計	20	18	2	19	17	2	0	0	0
西洞計	47	47	0	44	41	3	1	0	0
計	211	203	8	199	190	9	1	0	0

※この診断は国道や村道の住宅の密集しているところを中心に実施しました。

大型炊き出し器六台を購入しました

(八十五型一台、三十型五台)

村では災害発生等の非常時に食糧の確保を図るため平成二十三年度市町村振興宝くじの助成を受け、八十五型炊き出し器一台と三十型炊き出し器を購入しました。



各洞等で炊き出し訓練を実施する場合には是非この炊き出し器を活用して頂きたいと思っています。



たき火などをする場所は安全ですか？

屋外での火の取扱にご注意を！

飯田広域消防

昨年は、1月から4月末までに79件もの火災が発生し、そのうち「たき火」などが原因で発生したものが

43件で半数以上を占めました。これは、1月から4月までの降水量が前年に比べ半分以下であり、空気が乾燥した状態が続いたことも要因として挙げられます。また、「たき火」などから燃え広がった経過は、「火の粉が付近に飛んだ」「その場を離れた」「消し忘れた」など、「今までやっていた」「これくらいなら」などと思うチョットした油断によるものです。

◎たき火などをする時は、次のことに注意して火災を起こさないようにしましょう。

★たき火などを始める前の注意

- 周囲に枯れ草など燃えやすいものがない場所で行いましょう。
- 空気が乾燥している時、風の強い時はやめましょう。
- 水バケツなど消火の準備をしましょう。
- たき火などをする場合は、事前に最寄りの消防署へ届け出をしてください。

★たき火などをしている時の注意

- 火が完全に消えるまでその場を離れないようにしましょう。
- 火の粉が飛ばないように少しずつ燃やしましょう。



★たき火などが終わった後の注意

- 再び燃え出さないように完全に火が消えたか確認しましょう。

たき火火災ゼロ運動実施中 1月4日～4月30日

＜問い合わせ・届け出＞ 平谷分署 TEL48-2011

【参考資料】

平成23年1月1日から4月30日までの火災状況

- 火災件数 79件（うち、たき火火災等43件）
- うち根羽村 0件（うち、たき火火災等 0件）

**林業退職金
共済制度（林退共）
からのお知らせ**

林業の仕事をしていたことがありませんか？

林退共制度に加入していたが、退職金をまだ受け取っていない方を探しています。以前、林業の仕事をしていたが、自分が林退共に加わっていたかわからない方についても調べますのでご連絡ください。最寄の支部又は本部へお問い合わせ、ご相談ください。

〈お問い合わせ〉

独立行政法人勤労者退職金共済機構

林業退職金共済事業本部

〒105-0011

東京都港区芝公園1-7-6

退職金機構ビル

■電話

03-5400-4334

■FAX

03-3432-5868





▲夏の陣 大人気の流しソーメン



▲秋の陣 楽しい木橋天板の色塗り

根羽村では平成十七年度から矢作川下流域にあたる愛知県刈谷市、安城市等に所在するアイシンググループ六社と「森林の里親契約」を締結し、毎年、森林整備を推進するため協力金をいただいで、夏と秋に年二回交流会を開催しております。根羽村ではこうした下流域の企業等、矢作川流域の住民と一体となった森林整備の推進により森林の公益的発揮・CO2吸収促進・根羽スギ住宅の建築推進・根羽

村ファンの獲得に努めています。このような矢作川上下流が一体となった森林整備の推進や企業との交流活動のために「森林づくり推進支援金」が活用されています。昨年もアイシンググループ六社と根羽村主催による「根羽村親子わんぱく体験隊」夏の陣と秋の陣が、それぞれ七月二十八日、十一月十三日の二日間に渡って開催され、総参加者数約三五〇名が交流する大きなイベ

ントになっていきます。交流会に参加されるご家族はリピーターの方が多く、夏の陣では特に魚つかみ・流しソーメン・木はがき等、秋の陣は色塗りをする木橋づくりと間伐体験、最後の焼き芋プレゼントに人気がありました。秋の陣開催の際には、根羽スギ住宅のパンフレットを渡し、アイシンググループの御家族の皆様根羽スギ住宅を建築していただくように呼び掛けました。多くの家族の皆さんが根羽村ファンとして根羽村の自然を楽しみ、森林整備にも参加していただいで、矢作川上流域の水源の村、根羽村の木を使って住宅を建てていただければと考えています。

森林づくり推進支援金を活用した アイシンググループとの交流会を 開催しました

ネットカウンセリングのご案内

「働くってどういうことかわからない」「社会に出て行くことが怖い」「周りの期待にこたえられない」なかなか家から出られない方、時間がない方のために、ネット相談を行っています。働くこと、就活に関する悩みごとをジョブカフェ信州ホームページのメール相談窓口より、メールでご相談ください。

<http://www.jobcafe-shinshu.pref.nagano.jp>

※平成24年3月末日まで毎日、24時間受付。対象は概ね39歳までの若年者となります。

厚生労働省長野労働局平成23年度若年者連携事業

■お問合せ

若年者地域連携事業推進センター

株式会社コミュニケーションズ・アイ

{ 長野労働局 ハローワーク 長野県
厚生労働省若年者地域連携事業委託団体 }

TEL0263-27-5010



今年度、コミュニティ助成事業の補助金により、公民館の盆踊り大会で今まで使用していたやぐらを、アルミ製のやぐらに新しくしました。

コミュニティ助成事業により
櫓を購入しました

第28回

ふるさと根羽村フォトコンテスト

「春・夏の部」審査結果

今年度実施しました、第二十八回ふるさと根羽村フォトコンテスト「春・夏の部」において十一名の方が入賞されました。

今回は特に安城市や下条村の写真愛好家から多くの応募がありました。どの作品も根羽村の美しい一面を切り取っていて入賞審査も難航していました。

当コンテストに応募された作品は、現在ネバーランド杉ホールに展示してありますので、ご覧下さい。

なお、来年度第二十九回秋・冬の部を計画しておりますので、是非多くの方々のご応募をお待ちしています。

村長賞



楽しい川遊び 串原幸延(下條村)



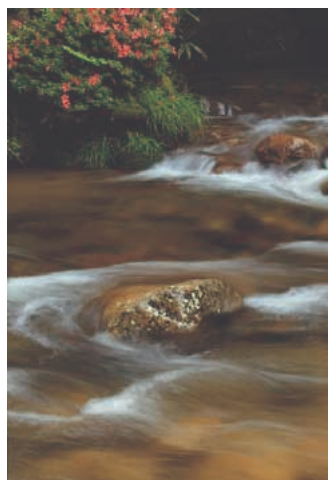
南信州新聞社賞

山小屋からの夕日
内山忠久(名古屋市)



信州日報賞

天/地 生命
下川清光(西尾市)



審査員特別賞

清涼
市岡美智子(飯田市)



観光協会長賞

緑色の空気
川治静子(安城市)



信濃毎日新聞社賞

とうもろこし販売
稲垣直美(岡崎市)



中日写真協会賞

耐えて…咲く
市岡富士雄(飯田市)



中日新聞社賞

笑顔
熊崎元子(飯田市)



優秀賞

溪流釣り
松島信雄(飯田市)



優秀賞

星空のネバーランド
小嶋秀明(幸田町)



優秀賞

和気あいあい
川治吉男(安城市)